



はよれと Palette

3
2021 March
vol.247

特集「JA岡山の未来に種をまく(後編)」

農を担う
トマト農家 川井 弘行 さん
高松地区……………10ページ

今月の折り込み ・2021年3月号カタログショッピング ほか

「JA岡山の未来に 種をまく（後編）」

先月号に引き続き「営農振興計画」と「地域くらし活性化計画」の取り組みから得た成果と見えてきた課題、新型コロナウイルス感染拡大による自粛傾向により停滞する経済活動やW・H・C・C・Cへの対策、JA自己改革への取り組みについてJA岡山の役員と女性部部長、青壮年部部長による対談の様子をお届けします。

対談参加者

経営管理委員会 会長	宮武 博
常務理事(営農経済担当)	山本 到
女性部 部長	河内 恵子
青壮年部 部長	秋山 佳範

進行役 広報担当

※本文中敬称略・役職等は対談時のもの

JA岡山自己改革 基本目標

農業者の
所得増大

農業生産の
拡大

地域の
活性化

基本目標を踏まえ地域経済の礎である
農業の維持・発展を目指します。

●対談（11月30日、JA岡山本所
ビルにて）

広報 新型コロナウイルス感染拡大の影響についてお尋ねします。営農や生活の変化について教えてください。

山本 飲食店利用者、観光客・海外からの訪日客の減少、イベントの自粛等により、業務用の米・野菜・花き等は需要が大きく減少しており、価格に影響が出ています。

果実は、「巣ごもり需要」の高まりにより、一人あたりの購入金額が増えており、ギフト需要も好調であったことから例年並みの価格で推移しています。外出自粛の中、農産物全般の家庭内消費が増大し、直売所・スーパー等は好調な販売が続いています。当組合の直売所でも販売は好調でした。さらに、オンラインショップで販売する商品を拡充し、米の販売を始めました。「ヒノヒカリ」や「朝日米」のほか、新たに「アケボノ」と「ヒノヒカリ」をブレンドした「温羅の舞」を開発し、販売しています。野菜のセットや1点からでも青果物を購入できるようオンラインショップの利便性向上に努めています。

秋山 青果物で言えばやはり業務用野菜・花きなどの嗜好品の消費の低迷です。特に緊急事態宣言の時は飲食店の需要が減ったため影響がありました。東京市場では飽和状態になっていたそうです。

山本 生産者の方へは当組合が行う「営農振興支援事業」だけでなく、行政が執り行う新型コロナウイルス感染症にかかる各種支援金である「経営継続補助金」、「高収益作物次期作支援交付金」などを管内生産者に活用していただけるよう尽力いたしました。少しでも農家所得の増大ができるよう努めています。

感染リスクの低減とお客さまの利便性向上のため、岡山市のポイント還元事業に呼応してキャッシュレス決済「PayPay」を導入し、資材店や直売所で利用できるようにしました。

広報 組織活動の変化についてはいかがでしょうか。

河内 女性部では計画していた行事も中止し、支部で開催している各種教室なども縮小して活動するなど例年どおりの活動ができていません。感染防止対策を行っていてもやはり不安があります。女性部活動は集まって交流することが楽しみのひとつなので残念です。

秋山 青壮年部の青年の主張大会もカメラの前で各地区の代表が発表するという初のオンライン形式での大会となりました。オンラインでは移動時間などを短縮できるメリットもありますが、実際に開催できないのは残念です。他の人の活動発表や意見を聞くとモチ

ベーションも上がりますし、「何かやらねば」という気持ちの奮い立ちます。来年度は会議のあり方や部員同士のコミュニケーションのあり方を模索する必要があると考えています。

河内 女性部では全国各地でも開催され交流の場となる家の光大会も中止になりました。全国大会を目指し、「家の光記事活用体験発表」の準備を進めていた支部については残念ですが次年度へ持ち越しとなりました。交流の場が少なくなつたなか、支部によってはSNSを活用し「コロナ禍でも部員同士のつながりを今ままでおり維持できればとスマホの使い方講座を開催しています。

また、JAと協力し防犯啓発資材のひとつとしてマスクづくりを行うなど、このような状況下でもできる活動を行っています。



広報 自己改革への取り組みについてお尋ねします。自己改革への取り組み内容とJAに求めることについて教えてください。

山本 引き続き自己改革の目標である「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に取り組みます。

生産者は高齢化により全国で5年間に40万人も減っていると言われ、これ以上耕作放棄地を増やさぬよう行政等と連携しながら地域を引っ張っていきたいです。

また、コロナ禍での消費構造の変化を踏まえると、やはり食料自給率の向上は不可欠であると感じています。その実践方法として「地産地消」や「国産国消」を呼びかけるとともに、管内農業の活性化と生産基盤の強化に取り組めます。そして「営農振興計画」と「地域くらし活性化計画」の着実な実践が重要です。青壮年部や女性部の皆さんにも協力をお願いしたいと思います。

新規就農者にもうけて農業の魅

アを出し合いながら模索していきたいです。

山本 W-I-T-Hコロナへの対策として変えるべきことは変えながら女性部、青壮年部とJA岡山の未来にむけて取り組んでいきます。

情報発信にも力を入れてさまざまな活動を発信したい。それが皆のモチベーションにつながるのではないかと思います。地域貢献活動についても両部の力が不可欠なので情報交換をしながら次年度も頑張っていきますのでよろしくお願いします。

河内 今年度はコロナウィルスの影響で活動があまりできていませんが、できることからコツコツと、みんなが入ってみたいと思うような魅力のある活動を工夫しながらやっていきたいと思います。青壮年部と協力して食育活動をするなど新しいことにも取り組みたいです。こうした活動を通じて地域とのつながりを大切にし、JAに頼られる女性部になりたいと思います。

秋山 見通しの立たない状況の中で今までどおりの活動は難しいかもしれませんが、女性部の方などとコラボしたり新しい活動ができたらいいのではないかと思っています。米や野菜、果樹などそれぞれの生産者の分野に活かせる研修に力を入れたいですね。アイデ

力を生産部会を中心に発信し続けないといけません。栽培に関する知識・技術の早期習得を目的に開催している「もも・ぶどう農業塾」では、受講した塾生の8割が生産者となり市場や直売所に出荷をしています。

秋山 「1日農業バイト」についても作業を楽しみに来てくれる人が多いです。農業に興味を持っている人がほとんどなんです。普段できない体験ができると喜んでいただきました。男女比も半々で学生などの若い方などより多くの方に農業に興味を持ってほしいと思います。このアプリを効率的に使用すれば仕事の見通しがつきやすくなり、求人を出すとその日のうちに応募が来て人材確保に助かっています。

河内 「地域の活性化」の取り組みについては女性の声を反映させることが大切ではないかと思っています。女性がJA運営に参画することにより、地域の中心的存在となり地域の活性化や住みよい地域社会つ

くり貢献できると思っています。しかし、女性部には、大きな問題として部員の高齢化があります。今後女性部組織を運営していくリーダーをつくるためにも女性部のPRに力を入れていきたいと思っています。

山本 他県の一部のJAでは体制改革として地域を限定せず、部員がどこでも活動しやすいよう支部を超えた活動をしています。誰でも気軽に参加できる柔軟な体制が必要かもしれません。

河内 次世代については、幅広い世代にむけた女性大学の開催を通じて女性部をPRしたいと考えています。私自身、女性大学をきっかけに女性部員となり現在に至っています。

また、フレッシュミズ世代は子育て世代が多く、子どもの手が離れたら職場復帰する方もあり、部員として継続するには運営方法に工夫が必要です。若い人にも興味を持っていただけるような活動や気軽に参加できる体制づくりが



予告

ぱれっと4月号では、「米の消費拡大を目指して！
JA岡山女性部監修『おこめレシピ』」を掲載予定です。

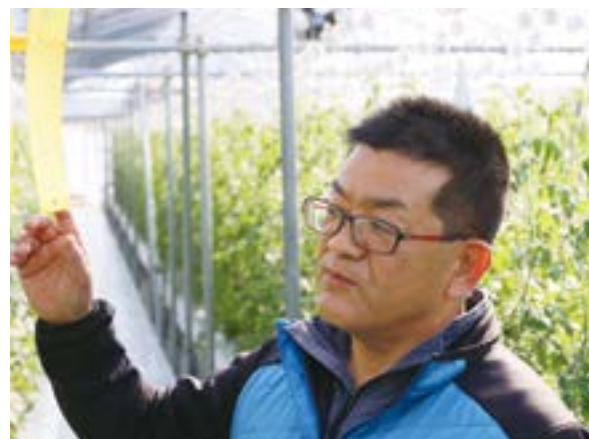
スマート農業を活用し、 「おいしい」と言われるトマトを作りたい

川井 弘行さん

高松地区：トマト農家

「かわい ひろゆき」

昭和37年生まれ。鯉山ファームを経営。トマト農家。母、妻、子ども2人の5人家族。趣味は映画鑑賞。座右の銘は「明日はきっといい日になる」。



粘着シートで害虫のチェックを徹底しています

1月18日、高松地区のトマト農家の川井弘行さんにお話を伺いました。

新しい農法で栽培されたトマトに感激

―就農したきっかけは

ある時、新しい養液栽培システム（かん水と施肥を自動制御するシステム）を使って栽培されたトマトを食べたことがきっかけです。あまりにもおいしくて「こんなにおいしいトマトを食べたことがない」と感激し、自分でも同じ農法で作ってみた

いと決心し、3年前に就農しました。

―農業を始めてからは

施設園芸を一から始めるには、初期投資がかさむため、近隣の使われていない農地とビニールハウスを借り、リニューアルしました。ほ場整備が大変で軌道に乗るまでに多くの方の力を借りました。そのおかげで今があるので協力してくださった皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は、アイメック®フィルム農法でフルティカとイエローミミの2品種約4,200本を栽培し、10^ハハウス3棟で経営しています。トマトが色づいてたわわになっているところを見ると嬉しいですね。

―栽培上のこだわりは

粘着シートを使って日々害虫をチェックしています。ついた害虫を見て必要ならば農薬を散布し、影響が広がらないように対策します。他にも、ハウス内の温度・湿度・二酸化炭素量・



日射量をデータ化して総合的な数値を加味して生育管理をしています。収量と品質に影響が出るので、欠かさず行っています。また、受粉のためにクロマルハナバチというハチを飼育しています。ハチがいないと受粉出来ず、きれいな形のトマトができませんので、従業員の一員のようにならなければなりません。

「おいしい」と喜んでいただけるトマト作りをしたい

―今後の抱負は

トマトは8月に定植し、11月～6月の間収穫します。定植から収穫終了までのほぼ10カ月間、毎日気が抜けませんが、品質のよい甘くておいしいトマトを消費者の方に届けられるよう頑張っています。

トマトにはビタミンCやリコピンといった栄養素がたくさん含まれているので、しっかり食べてもらいたいです。

聞き手…JA岡山広報担当



受粉作業を担うクロマルハナバチ



トマトの摘果作業も大切な作業



養液栽培システムを操作する川井さん

野菜

サトイモの栽培
についてご紹介
します



営農部指導課
宮本 大輔

●サトイモの栽培

多湿を好みますが、水の長期停滞には弱く、根に障害が出たり、イモが長形になりやすくなります。土質に対する適応性は広く、栽培しやすいですが、連作に弱く、3〜4年の輪作が必要です(資料1)。

●種イモの準備

種イモは大きいものほど初期生育がよく、多収となるので、1個60〜70gの病害虫の被害や傷のない丸みのあるものを10平方メートルあたり15〜2kg用意します。

●芽出し

そのまま植え付けてもよいのですが、芽出しをするとロスが少なく、生育も揃います。植え付けの20日ほど前に資料2のように伏せ込みます。

花き

春播き栽培が
始まる時期に
なりました



営農部指導課
中川 雄一

3月からは春播きの花の栽培が次々と始まる時期、今回はアゲラタム。夏を彩る青い花壇素材として定着していますが、60センチくらいに伸びる品種があり、日保ちのよさから切り花としても重宝します。名前は不老を意味するギリシャ語からきていて、花言葉も「信頼」「永久の美」など、健康長寿の贈り物にも最適です。切り花用の栽培をご紹介します(資料4)。用途に応じて切り花向きか花壇向きの品種を選んでください。

●種播き

種はとても小さく、発芽に光が必要で、発芽までに日数がかかります。市販の播種用土やピートバンなどに播いて、覆土せず底面給水にするのが向いています。

植え付け後に霜に遭わない時期からの定植で、育苗日数は40〜50日程かかります。発芽適温は20〜25℃ですから、早期の定

屋間20〜25℃、夜間12℃以上を目標として管理します。植え付け適期は、頂芽が3センチ程度伸びたころで(5センチ以上伸びると遅い)、2芽以上萌芽したものは、親イモが2個になり、子イモの肥大が悪くなるので、頂芽1芽を残して他の芽は早めに除去します。

●畑の準備

冬の間に耕しておき、植え付けの2週間前に10平方メートルあたり堆肥20kg、石灰1.5kgを施して深く耕しておきます。さらに植え付け1週間前に野菜いちばん等を1.5kg施し、幅1メートルの畝を作ります。

マルチ栽培では1回の基肥で栽培するので、長く効く緩効性肥料(1B化成S1号等10平方メートルあたり1.3kg)と野菜いちばん等を10平方メートルあたり0.5kg施します。

●植え付け

1条植で株間は早生種30〜40センチ、晩生種35〜40センチとします。覆土はマルチ栽培で12〜15センチ、普通栽培で5〜6センチとします(資料3)。

●中耕と土寄せ

1回目の土寄せは草丈30センチのころに軽く中耕して6センチ程度寄せます。2回目は6月中旬で6〜9センチ、3回目は7月上旬で9センチ程度土を寄せていきます。一度に多くの土寄せを行うと、子イモの数が少なくなり、変形したイモになります。

やすいです。梅雨明けまでには作業を終了するようにしましょう(資料3)。

●追肥

化成肥料(野菜いちばん等)を10平方メートルあたり1回400g、土寄せ時に畝の肩へ施します(計3回)。(7月上旬)に行います。

●灌水・敷きわら

収量と品質を大きく左右するのは土壌水分です。子イモは7月中旬以降から8〜9月にかけて急速に肥大するので、この時期は極端に土壌が乾燥しないように敷きわらを行い、定期的に灌水を行います。敷きわらは最後の土寄せ時(7月上旬)に行います。

●収穫・貯蔵

収穫は天候のよい日に行い、地上部を刈り取った後、株ごと掘り起こします。

サトイモは5℃以上に保てば腐敗しにくいですが、貯蔵する場合は、掘り上げ後余分な土を落とし、子イモを親イモに着けたまま盛り土貯蔵法等で行います。

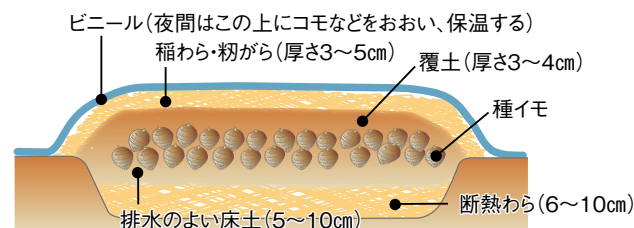
資料1 サトイモの栽培暦

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	主な品種
マルチ早熟栽培			○	△									石川早生
普通栽培				△									赤芽大吉 石川早生

○伏せ込み △植え付け ●収穫

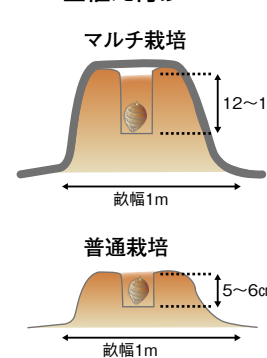
石川早生(早生種):子イモ用のやや小型の品種で早熟栽培に適する
赤芽大吉(晩生種):石川早生より大きな子イモができ、食味もよく親イモも食することができる。晩生であるので県南部向きの品種で、草勢が強いので、やや広めに株間をとる。

資料2 サトイモの芽出し

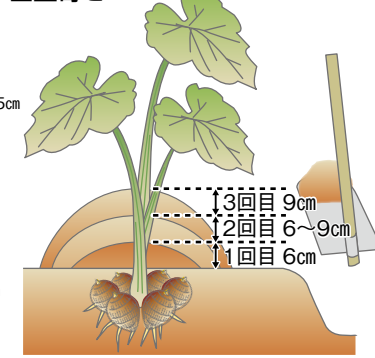


資料3 サトイモの植え付け、土寄せ

■植え付け



■土寄せ



追肥と同時に土寄せする

植を目指すにはハウスでの温度管理が必要です。開花期が少し遅くなりますが、比較的暖かい地域でのお彼岸以降の播種なら暖かい屋内で初期管理すれば可能です。種は0.1メートルで100粒以上あります。

本葉2〜3枚になったら、3号ポットに植え替えます。本葉4〜5枚のころ定植します。

セルトレイ育苗する場合は200穴程度の大きめのものを使い、本葉3〜4枚で定植します。

●本ば準備

吸肥力が強く、肥料が効くと茎葉ばかり茂るので、よく腐熟した肥料分の少ない堆肥を入れたら基肥は無しで、必要に応じて追肥していきます。土壌が酸性寄りになったところは苦土石灰などで弱酸性に矯正しておきます。

●整枝

10センチくらいになったら、芯を摘んでわき芽を伸ばします。その後伸びた茎の数が多くと通気不良になるので、5〜6本に整理します。

●灌水

畝面幅60〜70センチの畝を作り排水性を確保、条間30センチ、株間30センチの2条植にします。

●整枝

10センチくらいになったら、芯を摘んでわき芽を伸ばします。その後伸びた茎の数が多くと通気不良になるので、5〜6本に整理します。

●害虫

病害虫は少ない植物ですが、乾燥するとハダニが葉の裏に付

●ネット張り
茎はしっかりと立っていて、台風や強い雨に倒されないよう、20センチ×3のフラワーネットを1段しっかりと張っておきましょう。その方が花保ちもよくなります。

●切り花

夏に貴重な青い花が咲き出すとつぼみの状態で切り花したくなりますが、早すぎると水が上がり萎れることがあります。ある程度咲き進んで全体に色が出た茎から順に切りましょう。その方が花保ちもよくなります。

●盛夏のアゲラタム

最近の品種は開花が始まると秋まで長く咲きますが、真夏の暑さは苦手なので、一旦咲きにくくなります。本来日照を好む植物ですが、盛夏期はいくらか遮光してやる方が元気になります。また、植え付け前に、地温を下げる効果のある白黒ダブルマルチなどを張っておくか、畝に敷きわらをしてやると、苦手な高温の時期を過ごしやすくなります。この時期は追肥も控え、混みすぎて蒸れないように、傷んだ茎を間引いて秋の花を待つことも有効です。

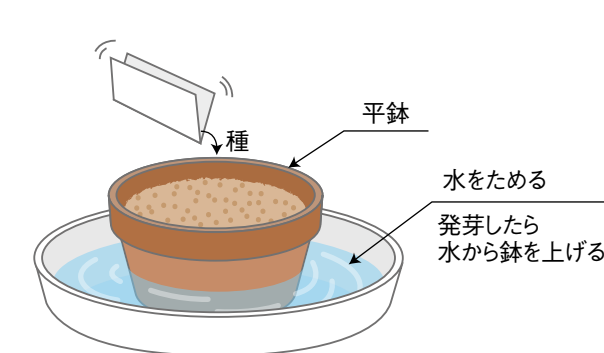
●害虫

病害虫は少ない植物ですが、乾燥するとハダニが葉の裏に付

資料4 アゲラタム切り花用品種



資料5 種播き(底面給水)



くことがあります。気づいたら薬剤防除とともに、水やりの時茎葉にも水をかけるようにすると、乾燥を好むハダニの抑制に繋がります。

果樹

かんきつ類と
ビワの栽培の
参考に！



営農部指導課
小野 智寛

3月のかんきつ類の植付けと
ビワの摘果・袋掛けについて記
述いたしますので、参考にして
ください。

一 かんきつ類の植付け

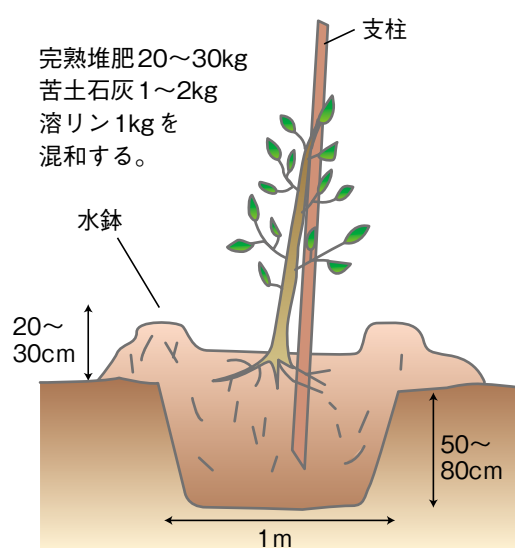
3月のかんきつ類の植付け時
期になります。ここでは植付け
の流れを紹介いたします。

●土づくり

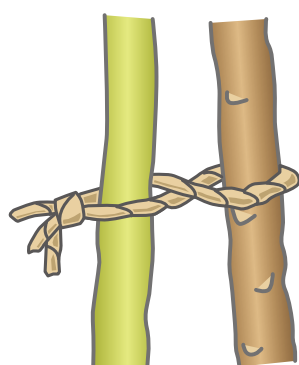
苗木の定植前に土づくりを済
ませておきましょう。直径1m、
深さ50cmの植穴を掘ります。こ
の時に大きな石や根などがあれ
ば取り除いておきましょう。施
肥量は土質によって異なります
が、完熟堆肥20kg、苦土石
灰1kg、2kg、溶リン1kgを目安
に施用し、土とよく混和してお
きます（資料6）。

この時に配水対策として、盛
り土にしておきますが、盛り土
は土が雨などで鎮圧されると低
くなりますので、気持ち高めに
作っておきましょう。

資料6 植え穴の準備



資料7 誘引方法



結束は8の字が基本

●植付け
根を四方に広げ、根と根が重な
り合わないよう土を根の間に挟
みながら丁寧に植付けます（資
料6）。植付け後は水鉢を作り、
その中に水をたっぷり注ぎ込み
ます。水鉢に水がたまった程度で
は根の周りまで水が来ていない場
合もありますので少し掘って確認
してみてください。こうすること
で土と根をよく馴染ませることが
できます。

●苗木
苗木は、植付けまで根を乾か
さないように管理します。特に
かんきつ類は乾燥に弱いので、
注意しましょう。苗木は40cm
程度に切り戻し、切断面にトッ
プジンMペーストを塗布し、保
護しておきます。

二 ビワの袋掛け

寒さの落ち着いた3月下旬ご
ろから袋掛けを行います。袋掛
け前には摘果を行い、果数の調
整を行いましょ。

●摘果

樹の勢いや今年の着果数を見
ながら果実の間引きを行います。
虫の被害を受けた果実や小さい
果実を落としていきましょう。

植え付けた後は支柱を立て、風
で苗木が倒れたりしないように紐
で誘引します（資料7）。誘引で
はきつく縛らないようにしまし
う。その後は乾燥に注意し、10日
間程度の間にまとまった雨が無
ければ灌水を実施しましょう。

資料8 ビワの摘果と袋掛け



田中は2果、茂木
は3~4果程度残
し、一緒に袋を掛
ける

●袋掛け
摘果が終わったら袋掛けに入
ります。袋の口を大きく開き、
果房をまとめて包み込みます
（資料8）。この時に果軸を折ら
ないように注意しましょう。

新ジャガと
アスパラガスの温サラダ

作り方

- (1) ドレッシングの材料をボウルで合わせておく。
- (2) フライパンにサラダ油をひき、一口大に切った新ジャガとベーコンをじっくりと焼き上げる。
- (3) アスパラガスを塩ゆでし、食べやすい大きさに切る。
- (4) (1) のボウルに (2) と (3) を入れ、混ぜ合わせて皿に盛り付け、イクラとハーブを飾り出来上がり。

レシピ提供 / 永井智一(ながいともかず)
茨城県笠間市にある「天晴(旧キッチン晴人)」オーナーシェフ



材料 (4人分)

新ジャガ(小イモ)ゆでた物 4個
アスパラガス 4本
ベーコン厚切り 120g(8等分)
塩 適宜
サラダ油 適宜
イクラ 大さじ1
ハーブ 適宜
ドレッシング
マヨネーズ 大さじ2
ポン酢 大さじ1
粒マスタード 大さじ1
レモン汁 大さじ1

Aglogram

あぐろ
グラム

編集後記

地域を支える
太陽光発電所

今月のあぐろグラムでは瀬戸内市邑久町尻海の「瀬戸内Kirei太陽光発電所」についてご紹介します。

こちらの発電所では約260㌦の敷地にソーラーパネル約90万枚を設置し、年間約235メガワット(一般家庭約8万世帯の消費電力)を発電します。また、発電だけではなく、地域を災害から守るための工夫が施されています。中央排水路を整備し近隣の農地や住宅への浸水のリスクを軽減することや、錦海湾堤防の補強を行い津波や高潮から守ることができます。

編集担当 久山 隆一

